

第2回セミナー

前向きに…子どもとメディアのつきあい方を考えます！

日時	1月18日 10時～12時
場所	葉山町港湾管理事務所
参加人数	21人
参加対象	乳幼児・小学生の親と子育て支援に関わる専門家

<式次第>

- ① トリプルP子育てスキルの復習 (DVD教材視聴)
- ② メディアと聞いて思い浮かぶことを上げる
- ③ 子育てをしながら、メディアとどう付き合うか
毎日の子育てで困っている事を上げ、対処する方法を考える。
(グループディスカッション)
- ④ 具体的なヒントなど、グループ発表
- ⑤ まとめ

<内容>

- ① DVD教材を用いて、トリプルP子育てスキルの復習
- ② メディアと聞いて思い浮かぶもの
参加者から
テレビ DVD 新聞 インターネット ゲーム DS
携帯電話 雑誌 など
- ③ 子育てをしながらメディアとどう付き合うか (グループディスカッション)
 - ・上記のものから、家庭の中でハイリスクと考えることを1つ上げ、トリプルPのスキルも使い、で解決策を探るディスカッションを行なった。
 - ・1グループ4人～5人 計5グループ
- ④ 各グループより発表
- ⑤ まとめとして 例題を全体で考える。

<グループディスカッションから>

「テレビの見せ方」(3グループから出た意見)

- ・ **どう扱いたいかを考える**

子どもが自己判断ができるような力を養う
自分で管理することができるようになる。
など

- ・ **前もって準備すること**

時間を決めて見せる。
子どもが見たい番組・親が見せたい番組があるので、家族で話し合い見る番組を決める。
テレビを見る環境を整える（見る位置・テレビとの距離など）
番組表をチェックし、見る番組を決めカレンダーを作る。
親が明確な基準をきめ、ぶれない。一貫していることを夫婦で確認。

- ・ **前向きなルールを決める**

子どもと一緒に時間を決める。見る番組を決める。
テレビを見る前にすることを決める。生活のスケジュールを立てる。

ルール例

ご飯を食べないとテレビを見せない

↓

ご飯を食べてからテレビを見る。（前向きなルールにする。）

テレビをめぐる兄弟げんかを防ぐためのルールとして
順番に見る。
宿題などやるべきことをやってから見る。
リビングで見る。

- ・ **前向きな行動を促す**

スケジュールと一緒に、子どもと考え決める。
見る番組のカレンダーを子どもで作る。
テレビを見る時間をご褒美にする。
そのスケジュールに従って行動できたら、具体的にほめる。
行動チャートを使う。

- ・ **困ったときどうするか**

決めたもの以外を見たいと騒いだらどうするか。
→ルールを説明し穏やかに指導する。

「ゲームなどとの付き合い方」（2グループからでた意見）

- ・ **どう扱うかを考える**

自分で判断できるようにする。
コミュニケーションのツールにする。
など

- ・ **前もって準備すること**

ゲームを買う前に、ルールを決める。
どんなゲームがあるのか、親もやってみる。親が管理する。

親の方針・基準としっかり決める。一貫した態度で接する。
ルールが必要な理由を説明する。

理由として

ゲームに依存して他のことができなくなるから

目が悪くなるから

友だちとのコミュニケーション力が低下するから

親も一緒に遊ぶ。

兄弟げんかを防ぐために、上の子がゲームしている時、下の子にも遊べるものを与える。

友だち同士で遊ぶ場合、始める前に時間制限を話しあってから遊ぶ。

・前向きなルールを決める

ルール例

○オになったら、ゲームを買う。

ゲームをする場所を決める。

自分の部屋にこもらない → リビングで遊ぶ

外出先に持っていかない → 自宅で遊ぶ

ゲームを持っていない友人とは、他の遊びをする。

宿題が終わってから遊ぶ。ママと一緒に遊ぶ。

〇〇時まで、ゲームで遊ぶ。

・前向きな行動を促す

行動チャート

時間を守ったらシールを張る。

ポイントがたまったら時間をサービスする。

ゲームやソフトの収納場所を、楽しいものを一緒に作る。

→片付けたら、ほめる。

ゲームの内容を把握するために、話しがでたら対話する。

→他にも楽しい遊びがあることを伝える。

お手伝い・勉強などやったら、ご褒美としてゲームを与える

→お手伝いができたら、ゲームを15分など

・困ったときどうするか

カセットの紛失や破損を防ぐために、

友だち同士のゲームの貸し借りはしない。

持ち帰らない。→ 前向きなルールに置き換える。

出来なかったとき

→ ルールを確認する。すべきことができたら、ゲームを与える。

できなかったときは、ゲームを取り上げる。

→ 決めたことができたらゲームを与える。

「携帯電話の扱い方」(まとめの例題として全員で考えた意見)

・前もって準備すること

どんな機種があるのか調べてみる。

持たせる基準を、話し合ってきめる。

親がルールを考え、家のルールを決める。

子どもが上手に使えるという自信が親に出来たとき、与える。

・前向きなルールを決める

家では、リビングで使う

リビングに携帯の充電器を置き、帰宅後片付ける。

自分の部屋で使わない → リビングで使う

使う時間を決める。など。

<まとめ>

親のどのようにしたいかをメディアの取り扱いの方針と基準をに明確に決め、前向きに子どもと取り組むために、どのような方法を用いたらよいかを考える。そのヒントとしてトリプルPのテキストを活用するなどし、前向きな方針を決めルール作りなど、前もって考えることで、リスク回避ができることを確認した。

また、メディアは生活をしていく上で切り離せないものであると同時に、子どもの成長に伴い問題行動と結びつきやすいものと思っている親も多いが、反面、将来はメディアを上手に活用できるようになってほしいという意見があった。そのためにも、メディアを使用する場合の判断力や自己コントロールの力が必要とであり、子どもの自己肯定感や自尊感情を大切にしたい前向きな子育てをしていくことがポイントになることなどを確認した。

<参加者の主な感想から>

- ・トリプルPで習ったことは断片的ですが、今でも家庭で役立っています。メディアについて、これから問題になってくると思うので、今日話し合ったことを活かしたいです。
- ・少し先のことを話あいました。各々の家庭の価値観を知れてとても参考になりました。
- ・事前に考えておくことの大切さがわかりました。みなさんのアイデアをヒントに、夫と家族会議を定期的に関いて、問題が起きる前に対処できるようになりたいです。
- ・普段、ママ友とゲームや携帯は「怖いわよね～」っと話しをすることはありますが、対策方法など、ここまで掘り下げて話すことはめったにないので、そこが良かったと思います。同じ年代のお子さんを持つお母さんと話ができることも良かったです。

- ・久しぶりにテキストを使いながら、ゲームなどの問題の解決方法をみんなで話し合うのは、とてもよい勉強になりました。スキルを活用した解決策を話し合うことが出来て参考になりました。

5歳児 母

- ・今後、起こりうるテーマだったので、あまり浮かばなかったがよいアイデアをもらえたので良かった。メディアとの付き合い方など現実の場面に使えるのもわかったので、今回の考えたヒントを伝えるようにしていきたいです。

- ・事前の準備が、ふさわしい行動を促すためにとても重要だと実感しました

- ・新しいアイデアが聞けて、とても参考になりました。メディアとのつきあい方は、家族全員が対象なので、今後も考えていきたいです。

- ・答えがない子育て。まず、親がしっかりしないと・・・なのですね。

- ・まだ、直目する前の問題でしたが、考えるチャンスがあってよかったです。自分自身、頭の中がもやもやした点でも、同じテーブルのメンバーがすっきり整理できた発言をしてくれたり刺激になりました。トリプルPのスキルを使って、前向きに取り組みたいです。